

にっせんかい

日扇会ニュース



vol.41

2017年

地域の皆様と日扇会の意見交換・情報提供のための紙面です



（「白木蓮とランプ」水彩画：星野瞳）

花粉症の季節です

くしゃみや鼻づまり、目のかゆみなど「花粉症」に悩む患者さんは年々増えていますが、治療のポイントは「早めの対策・自分に合った薬を見つける・日頃の対策」です。そのため当院では、2種類のアレルギー検査を用意し、患者さんご自身に合った治療を行っております。アレルギー検査およびより詳しい検査は、いずれも採血で検査を行いますが、早めの対策をお取りいただき花粉症シーズンを乗り越えてください。



病院機能評価を受審して

当院はこのたび、(公益財団法人)日本医療機能評価機構が行う病院機能評価の中間審査を受審しました。通常、審査は5年毎に受けますが、今回は敢えてその中間(2、5年)時点で審査を受けました。理由は、緊張感を保つためです。審査は、中立的、科学的・専門的な見地から病院の評価を行うもので、評価項目は、医療環境や社会の変化に応じて数年ごとに改定されており、病院にとっては厳しいものになってきています。

当院はこれまで15年間にわたり、同機構の3回の認定・更新を受けてきました。こうした機会を捉えて、日常行っている医療が独りよがりにならないよう第三者(機構)の目でチェックを受けて、日本の医療水準を知ることは、医療の質を確保する上で非常に重要なことであると考えています。これまで認定を頂いたという実績は、日扇会が日本の医療基準をしっかりと満たしている証左でもある訳ですが、それに奢らず今回頂いたご指摘についても、真摯に受け止め更なる質の向上に取り組んで参りたいと考えております。

機能評価で求められる審査項目は時代に合わせて改訂されています。15年の間でも、色々な変化がありました。一口に病院といっても、少子高齢化が進み病院の役割も変わってきています。審査では①法定職員数が満たされているか、物や書類がきちんと整っているか、それらの人・物・書類などを用いて求められる機能を発揮しているのか、は言うに及ばず ②病院の果たす機能を分類(当院は「かかりつけ医」)し、より適した評価基準で

評価が受けられるようになりましたし ③又、病院をもっと広い視点から地域のインフラとして捉えて、地域の中でどういった役割を果たしているのか、といった要素も加味されるようになりました。今、日本は団塊の世代が75歳(後期高齢者)を迎える2025年に向けて、急ピツ

チで医療体制が整備されつつあります。つまり2025年にはこれまで以上の医療・介護のニーズが発生することが予想されており、それに応じて行くことは医療機関の大きな使命です。これまでのように個々の医療機関が独自の考え方で医療を個々別々に行っていたら良い時代ではなくなりました。それぞれが地域の医療インフラであるという自覚を持ち、役割を明確にして他院と分担し、連携を深めていかななくてはなりません。当院は「かかりつけ医」として地域医療に貢献することを使命として医療を実践して参りましたが、「地域包括ケアシステム」における役割など、ますます地域を意識した連携や取り組みが必要となってきています。こうした地域の中での取り組みが、機能評価でも求められる、即ち日本の医療基準として求められてきているともいえます。これまで、そして今回頂いた評価に自信を得つつも、更なる高みを目指し、更に地域の皆様に貢献できるよう取り組んで参りたいと思っております。



院長
やっじ さとる
八辻 賢

地域の皆様に貢献できるよう取り組みます！



第3回「健康フェスティバル」を開催致します

地域連携室 じつかわ 実川 司

地域の皆様と日扇会第一病院との交流の場をとの思いからスタートしました「健康フェスティバル」も今年で第3回のイベントを開催する運びとなりました。

毎回、多くの方に足を運んで頂いている健康フェスティバルですが、今回は、様々な世代の皆様楽しんで頂けるイベント盛りだくさんです。是非お誘いあわせのうえ、ご来場下さい。



第3回 健康フェスティバル

開催日時：2017年4月23日（日曜日） 13:00～16:00（雨天決行）
開催場所：日扇会第一病院

〈イベント内容〉

- ❁ お祭り広場：くじ引きやヨーヨー釣り、スーパーボールすくいなど縁日のようなイベント
- ❁ 健康チェック：今回も血管年齢と体組成を無料でチェック致します
- ❁ ロコチェック：ロコモティブシンドロームをご存知ですか。
ご自身の運動器の障害がないかどうかを簡単にチェックできます
- ❁ わくわく手洗いチェック：正しい手洗いの方法を体験を通じて学べます
- ❁ しおりづくり体験：世界にひとつだけのあなただけのしおりを作りませんか
- ❁ なりきり写真撮影：白衣を着てあこがれのお医者さん、看護師さんになりきっての写真撮影（お子様限定企画です）
- ❁ さわやかコンサート：人気のあの曲、懐かしいあの曲をゲストをお招きして演奏します（曲目や出演者は後日案内パンフレットにてご案内致します）
- ❁ デイサービスご利用者の創作作品展示会
- ❁ 写真と年表でつづる日扇会第一病院の40年の歩み展
- ❁ 福祉用具展示・体験コーナー
- ❁ 訪問診療・介護・福祉インフォメーションコーナー（情報収集のほか、無料相談も可能です）



寒さも和らぎ、さわやかな週末を是非「健康フェスティバル」をご活用ください。皆様のご来場を、心よりお待ちしております。

いんない

院内ラリー



X線CT装置のご紹介

放射線技師 守谷 安弘



当院で稼働している株式会社日立製作所製の16列マルチスライスCT装置をご紹介します。16列マルチスライスCT装置とは、身体をぐるっと一周撮影するだけで16枚分のデータを同時に収集できるX線検出器を搭載した装置のことです。

(1) 撮影時間が短縮され、検査がより楽に

撮影速度が格段に向上し、息を止める時間が10秒程度と短くなりました。従来の3分の1程度の息止め時間で、患者さんの負担がかなり楽になりました。(一度に16枚撮影でも撮影時間が16分の1になるわけではありません)



(2) 小さながんの早期発見にも効果があります

最小画像厚は0.625mmとなり精密な画像が得られます。胸部X線写真では描出の難しいミリ単位の小さな影を見つけられるようになりました。肺がんの早期発見等に役立ちます。

(3) 高画質の画像で、より正確な診断が可能に

最小スライス厚の画像を何枚も重ね合わせることで、鮮明な三次元の立体画像や任意の断面で切り出した良好な画像が得られます。これまで以上に正確な診断や、わかり易い説明ができるようになっております。



(4) X線の被ばくをより少なく

従来のCT装置よりも使用する線量を少なくする機能を持っています。X線の線量と画質は比例関係にありますが、画質を維持しながら線量を落とせるところまでコントロールする機能が搭載されています。特に被ばくに注意を必要とする小児でも、きめ細かな対応ができます。

第一線で活躍中の装置です。撮影は外来診療のほか、人間ドックや健診等のご利用も沢山頂いております。是非優秀なこの機械をご活用ください。きっと皆様のお役にたちます。

編集発行人

医療法人財団 日扇会

〒152-0031

目黒区中根2-10-20

TEL: 03-3718-7281(代表)

FAX: 03-3718-7736

ホームページアドレス:

<http://www.nissenkai.or.jp/>

季刊紙 発行日: 2月28日

理念 医療は患者さんのために存在する

使命 患者さんの「かかりつけ医」として地域医療に貢献します

基本方針

1. 私たちは、患者さんの権利と人格を尊重した医療を行います
2. 私たちは、プロとしての責任と誇りをもって自己研鑽に励みます
3. 私たちは、病院全体の力を結集して患者さんを支えます
4. 私たちは、信頼される医療を継続するため徹底したリスク管理を行います
5. 私たちは、全職員が思いやりとやりがいを持って医療を行う活気ある病院を作ります
6. 私たちは、担うべき役割を将来とも継続的に果たすため、安定した経営を維持します

